

たんぽぽ苑通信

2024年3月15日

第110号(年4回発行)

■発行 社会福祉法人神東会 岐阜県飛騨市神岡町東町690番地1
TEL(0578) 84-0011 FAX(0578) 84-0012 HP <https://tanpopoen.or.jp>

回覧



1月26日、能登半島地震で被災された2名の方が、たんぽぽ苑に避難されました。

甚大な被害に遭い、遠く慣れない土地に来られ、お疲れの様子でしたが、今は食事もしっかりとられ、笑顔もみられる様になりました。昔の仕事や能登の話をしてくださったり、行事に参加されたり、お元気にお過ごしいただいています。



も く じ

特別養護老人ホームたんぽぽ苑…………… 2 旭ヶ丘デイサービス…………… 3
旭ヶ丘ショートステイ…………… 4 介護医療院たかはら…………… 5 ご寄付・ボランティア活動のご報告等…………… 6

特養老人ホーム
たんぽぽ苑
です

忘年会

今年は、久しぶりの1・2階合同忘年会。職員の芸達者ぶりに「芸能人かな？」と聞かれる程でした。「どれもこれも面白かったよ」「よう笑った」と皆さんに楽しんでいただきました。



歌謡ショー

外国人職員が歌を披露してくれ、最後はみんな「ふるさと」を合唱。



ファイヤーダンス

入居者様がダンサーに飛び入り参加され、一緒に盛り上げてくれました。



ひょっこり

笛・鐘の音のお囃子にあわせて踊る女子職員のひょっこりは、かわいやら、おかしいやら。

「よいしょ！よいしょ！」のかけ声に合わせて餅がつけると、慣れた段取りで和気あいあいと、3つの花餅を完成させました。

よいしょ、よいしょ

餅つき&花餅作り



節分

2月3日豆まきをしました。
今年も一年健康に過ごせますように！
福が来ますように！と願いをこめました☆



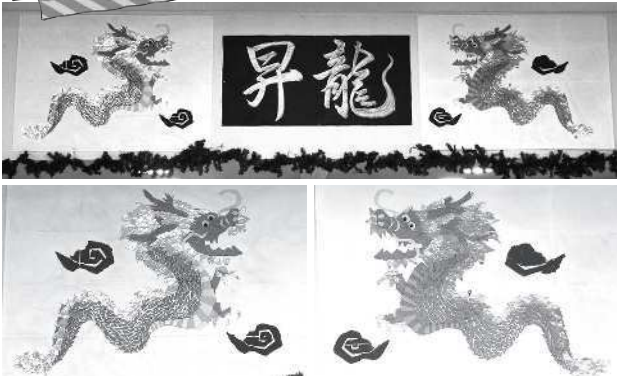
鬼の登場に、怖がるどころか笑顔で迎えられたようで…鬼としては怖がってもらえないと寂しいようです。

2024年、今年も元気に旭ヶ丘デイサービス始動です!!

旭ヶ丘
デイサービス
です



昨年より折り紙を折って・貼って…。コツコツと地道な作業を繰り返し、何とか年末に完成!!「辰年」の新年を迎える準備が出来ました。金と銀の龍が天へ向かって登っていく様子を表現しているそうです。いかがでしょうか?今年も新年から波乱な幕開けとなってしまいましたが、今年も1年健康で元気に暮らせるよう、龍に願いを込めました。



デイサービスでは、今年もカランコエがかわいらしい花を咲かせてくれました。この寒い時期の花は温かみがあり、とても心を和ませてくれますね。利用者の皆さんも花が大好き♪…ということで、レクリエーションで「生け花」をしていただきました。

バラやチューリップ、スイートピーにガーベラなどなど、赤や黄色、ピンクととても華やかな花材が届き、包みを広げたたん「わー!キレイやねー」と歓声が上がりました。自由に生けていただき、デイルームの各所に飾ったところ、とても好評でした。



「マイブーム」ならぬ『デイブーム』!?

最近のデイサービスでは、麻雀熱が高まっています。これまで男性の方しか参加されなかったのですが、遠巻きに見ていた女性の方々から「私らも若い頃したな」との声がチラホラ。

今では男性・女性問わず、4人集まれば雀卓を囲んで、お茶を飲むのも忘れ、職員の声かけも耳に入らないくらい皆さん没頭されます。最初はルールも解らなかった職員も、利用者さんに教えていただきながら参加しているうちに「結構おもしろいかも」とハマってしまいました。このブームはしばらく続きそうです♪



旭ヶ丘
ショートステイ
です



年末年始の恒例行事として、花餅を作りました。

皆さん真剣に赤と白の餅を小さく丸め、木の枝に付けてくれました。どこに飾れば良いか職員にしっかりと聞きながら「手のリハビリになるな」「花餅を作ると正月が来た感じや」「やっぱりこういうものを作るのは大事な」と楽しそうに作っていただきました。

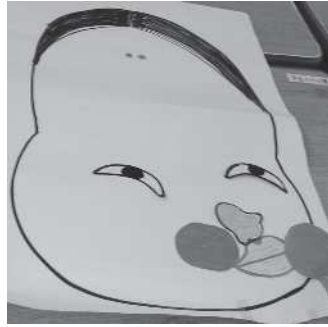


正月の遊びといえば…福笑い!!

目かくしをして手で目や鼻の位置を確認しながら職員と一緒にやりました。慎重にパーツを置き、完成した顔を見てみんなで大笑い。今年最初の大笑い、福を呼び込めそうな笑顔でした。よい1年になりますように。



介護医療院
たかはら
です



福笑いで初笑い

みんなで正月遊びを楽しみました。なんといっても盛り上がるのは、福笑いゲーム!!

目かくしを外してみるとできあがったおかめさんに思わず吹き出す利用者の皆さん。



かるたとり

束の間、笑いを忘れて皆さん真剣勝負です。



たかはら職員勉強会

定期的に勉強会を開催しています。いろんな分野の知識を学び、日々の業務に活かしています。



かふえくらぶ

みんなで季節のお菓子をいただいた後は、おたのしみタイム! あやとりしたり紙相撲したり



「社会福祉法人神東会」

運営寄金・物品篤志寄付

令和5年12月1日から令和6年2月29日までに、次の方々より、たくさんのご寄付をいただきました。

寄付金は「社会福祉法人神東会」の大切な財源として、又、物品は入居者や利用者の方々に有効に使用させていただきます。
心からお礼申し上げます。

篤志寄付

1,320,000円

- ▽中野壽正様(梨ヶ根)
- ▽神岡社会福祉事業協力会様(船津)
- ▽匿名4件

物品寄付

- ▽いちこの会様
- ▽株式会社アカツキ様(愛知県)
- ▽岩田英治様(東町)
- ▽金田百合子様(石川県)
- ▽阪下昭子様(西)

寄付して頂いた物品

肌着、パジャマ、パーカー、フット人形、ウエス、お茶、コップ、ヒーター、重心食器、タオル、座布団カバー、もち米、ラーメン、衣類、新聞紙製袋、広告紙製、紙パンツ、尿取りパット、湯たんぽ、門松

他、ありがとうございます。

- ▽山本佳子様(館野町)
- ▽城野晴夫様(東町)
- ▽高山信用金庫 神岡営業部様
- ▽神岡キリスト教会様
- ▽神岡ライオンズクラブ様



神岡ライオンズクラブ様

- ▽倉田晃様(寺林)
- ▽谷口妙子様(夕陽ヶ丘)
- ▽池内隆様(東雲)
- ▽中田美知江様(坂富町)
- ▽中野愛子様(船津)
- ▽白鳥縫子様(殿)
- ▽飛驒市社会福祉協議会 ボランティアアスターアップ事業様

「認知症になっても地域で暮らすために」

～認知症になっても安心して暮らせるまちづくり～

ちょっと一声かけてみよう

認知症になっても、本人にとってなじみの場や環境が確保され、なじみのある人との関係が続くことで、その人らしさを保ち、日常を楽しく暮らしている方々がおられます。

- 「ちょっと一声かけてみよう」
- 「ちょっと顔を見に行ってみよう」
- 「ちょっと一緒に買い物に…」
- そんな「ちょっと…」の気持ちが認知症の方々を支えます。

「ちょっと…」の気持ちをご家族へも

認知症の方のご家族は、常に見守りが欠かせず何かに縛られているような拘束感、周囲から理解が得られず追い詰められるような孤独感、本人に怒りをぶつけてしまうことへの罪悪感や葛藤等様々な感情を抱えながら日々認知症の方と向き合っておられます。



- 「ちょっと顔を見に行っても世間話でもしてこようか」
- 「ちょっとコーヒーに誘ってみようか」
- そんな「ちょっと…」の気持ちをもって接することで、ご家族が介護を一人で抱え込まないようにすることができるかもしれません。そして「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」に一歩近づくのではないのでしょうか。

問い合わせ先 シルバーサポートたんぼぼ苑

TEL0578-82-6541 FAX0578-82-6551

石神郷の会様



石神郷の会様

- ▽飛驒流葉牧場様
- ▽菱川春美様(愛知県)
- ▽福祉サービス事業所ピース様



ボランティア活動報告

《東町たんぼぼ苑》

- ▽後藤小萩様(託児)
- ▽高松和恵様(託児)

《旭ヶ丘たんぼぼ苑》

- ▽梶山敏子様(ドリンクバー手伝い)
- ▽JA山びこの会様(ドリンクバー手伝い)
- ▽小泉賢治様(余興)

《介護医療院たかはら》

- ▽森脇良和様(花壇整備)
- ▽小泉賢治様(余興)



手品を披露する小泉様